

平成18年度 事業報告

総括報告

さいたま観光コンベンションビューローは、さいたま市及びその周辺地域における観光コンベンション事業の発展と普及をはかり、市民文化の向上と地域経済社会の発展に寄与すること等を目的とする団体として、今年度も会員をはじめ行政機関や関係団体との密接な連携の基に、積極的な事業の推進をしてきたところである。

しかしながら、平成18年度の経済情勢も引き続き、大変に厳しい景気状況が続き、当ビューローの事業活動を取り巻く経済環境も前年同様厳しいものであった。

今年度においては、17年度に策定した経営改善計画の取り組みのひとつとして、情報発信機能の強化という観点から広報宣伝専属の担当を設置、情報発信機能の強化に努めた。結果、新聞等マスコミでも掲載回数が増加し、文字媒体においては一応の成果が見られた。また、ウェブページでも多国語対応の強化（韓国語・中国語を加えた）や、旬な情報を配信するブログ形式のページも設け、これらは19年度以降も引き続きさいたま市への訪問意欲を高められるよう強化していくものである。

観光イベント事業については、それぞれの特色を生かした各種イベントを開催。全て成功裡に開催することができた。ビューローが関連したイベントでは、入れ込み合計が321万人に達した。

コンベンション事業においては、誘致営業活動を強化するとともに、誘致実績も着実に推移しており、今後はさらに県・市・関係団体と一体となった誘致体制の充実が急がれるところである。本年度ははじめて、全国のコンベンション推進機関が集う「JCCBビューロー部会」をさいたま市で開催。他市のビューロー等の視察も受け入れるなど、交流を図った。

例年実施しているコンベンション経済波及効果調査でも、17年度の経済波及効果額は220億円余となり、コンベンション事業の推進が益々重要性を帯びてきている。

観光案内所の運営においては、JR東日本と共同で運営する大宮駅観光案内所を始め、さいたま新都心駅、北浦和駅、浦和駅前の各案内所においても観光案内を、情報提供をはじめ様々なサービスを提供し、年間利用件数は225,306件であった。

経営面においては、経営改善計画を柱に、公益法人としてふさわしい、あるべき姿に近づくため、自主財源の増加をはかるとともに、給与制度の見直しも行った。

さらにさいたま市で行われている「さいたま市観光振興ビジョン」の策定に向けて積極的に協力した。

財務・会計においては、本年度から適用された公益法人会計の制度変更を踏まえ、適正化を行うとともに、市公債の運用による、財源の有効運用をはかった。

事業別報告

i 観光事業

(1) 地域観光振興事業

地域観光行事への助成、支援

各種観光セールス、観光キャンペーン等への参加

- ・観光客誘致キャンペーンへの参加

2月6日(火)、都道府県会館(永田町)で開催された「埼玉県観光交流会」に参加。さいたま市をPRし、誘致に努めた。

花の名所の維持管理

(2) 観光物産振興事業

推奨土産品の広報及び販売経路の拡充、観光物産調査

(3) 観光イベント事業

行事名	期日	場所	入込/参加人数
岩槻城址公園桜まつり	4/1・2	岩槻城址公園	入込50,000人
さくら草まつり	4/22・23	市役所・さくら草公園	入込市役所10,000人 さくら草公園 80,000人
ばらまつり	5/20・21	与野公園	入込160,000人
大宮薪能	5/26・27	武蔵一宮氷川神社境内・さいたま市民会館 おおみや	鑑能者2,252人
氷川神社の茅の輪くぐりと植木草花市	6/30	武蔵一宮氷川神社境内・参道	入込20,000人
朝顔市	7/2	岩槻愛宕神社	入込700人
浦和祭り(音楽パレード・浦和おどり・みこしパレード・南浦和会場)	音楽・おどり 7/16 みこし7/23 南浦和7/23	浦和駅周辺 南浦和駅東口西口	音楽入込65,000人 おどり入込 145,000人 みこし入込 130,000人 南浦和入込50,000人
与野夏祭り	7/15・16	与野本町通り周辺	入込240,000人

岩槻まつり	7 / 30	岩槻駅東口周辺	入込130,000人
大宮夏まつり「スパークカーニバル」	8 / 1	大宮駅西口周辺	入込270,000人
大宮夏まつり「中山道まつり」	8 / 1・2	大宮駅東口周辺	入込280,000人
大宮夏まつり「大宮日進七夕まつり」	8 / 6・7	日進駅前通り周辺	入込175,000人
さいたま市花火大会	8 / 12	荒川総合運動公園	入込700,000人
さいたま市民まつり	10 / 7・8	さいたま新都心周辺	入込370,000人
クリーンさいたま釣りの祭典	10 / 15	びん沼川周辺	参加209人
十日市	12 / 10	武蔵一宮氷川神社境内・参道	入込200,000人
十二日まち	12 / 12	調神社とその周辺	入込130,000人
大宮 Bonsai 大学	3 / 4	見沼グリーンセンター	参加58人
合計		入込計 3,215,700人	

(4) おもてなしの心普及啓発事業

観光ボランティアガイドなどの協議会設立の検討及び既存ガイド会への支援

- ・「おもてなしの心」普及啓発事業「まちづくりガイドセミナー」の開催

平成19年3月14日(水)、第一部講師 池田静弥氏((社)川越シルバー人材センターガイドの会会長)により、「先進事例に学ぶ川越市の観光・施設ガイド」並びに、第二部として観光施設ガイドの活動及び意見交換会、各地域団体の活動エリア、内容、課題等の発表をなど、情報交換をはかった。(会場:さいたまふるさと館、参加者:30名)

- ・観光ボランティアガイド会への支援

ホームページ上での紹介並びに派遣依頼の受付

(5) 観光に関する調査研究

既存の観光事業の分析・検証

地域観光情報の基礎データベースの整理、観光資源の調査

地域観光振興

- ・各種イベント、地域観光振興事業の協賛後援事業(大盆栽まつり・さいたま太鼓エキスパート2006・彩の国さいたま元気フェスタ・大歳の市(十二日まち)・大正時代まつり・与野七福神めぐり・大宮日進七夕まつり・うなぎまつり・コラボさ

いたま、咲いたまつり、岩槻まつり他)

- ・ Jリーグチーム等への積極的支援及び協力
- ・ 海外姉妹都市との交流事業への協力
- ・ 友好都市との交流事業への協力

さいたま市観光振興ビジョン策定への協力

ビジョンの策定委員会等に参加し、当ビューローの立場から提言し、ビジョン策定に協力した。

(6) 事務局受託事業

ばらまつり、大宮夏まつり「スパークカーニバル」・「中山道まつり」、さいたま市花火大会

ii コンベンション事業

(1) 誘致・支援事業

コンベンション主催者へのセールス活動

各主催者団体のホームページ、その他情報類によりコンベンション開催地並びに役員名等の情報を分析し、本市開催の可能性がより高い団体に対して、県内キーマンや団体本部を中心に誘致セールスを行った。

<コンベンション誘致パンフレット>

コンベンション主催者へ向けた誘致セールス用に作成。(2, 000部発行)

来客者に対する主要駅への歓迎看板の掲出

JR大宮駅及びさいたま新都心駅の歓迎看板を常設化し、本市来訪への歓迎の意を表し、市民へホスピタリティ啓発のアピールを行い、また、コンベンション参加者への案内に役立たせることができた。

観光マップ、コンベンションバッグ等の提供

観光マップを36件約47,000部、コンベンションバッグを18件約19,000部提供し、本市開催のメリットをアピールした。

<コンベンションバッグ>

コンベンション参加者が会議資料等を入れられ、持ち歩きでき、当ビューローのPRにも活用できるビニール製手提げバッグを作成。(10,000部追加作成)

コンベンション開催準備資金貸付制度の実施

他の支援事業と併せ本制度の周知を図り、本市開催の誘致活動を行ったが、貸付を希望するコンベンションはなかった。

インターネットによるコンベンション情報の発信

支援メニューの充実等を図るとともに案内をわかりやすくし、コンベンション主催

者の利便性を高めた。

コンベンション開催時における臨時観光案内所、推奨土産品販売所の出店

当ビューロー直接の臨時観光案内所設置は行なわなかったが、旅行会社による臨時観光案内所の設置に協力し、本市開催のメリットをアピールした。

産業観光、アトラクション情報等の提供及びシステムの拡充

アフターコンベンションのニーズに応えられるよう、産業観光13施設、郷土芸能9演目について手配、紹介ができるように図った。

観光スポット、コンベンション施設等の写真の貸出システムの拡充

コンベンション主催者が宣伝集知用に作成するポスター等への活用を促進した。

コンベンションデータ（顧客名簿・開催意向等）の保守管理及び更新

分析調査及び誘致セールスで得た各種情報をデータベース化し、系統的セールス活動が行なえるよう管理、更新を図っている。

コンベンション施設ガイド等の発行

より現状に合致したデータの提供を図るため、ホームページへの情報掲載に一本化した。

その他コンサルティング

(2) I M E 出展事業

国際ミーティングエキスポ「I M E 2 0 0 6」への出展

9月22日(金)～23日(土)、東京ビッグサイトにおいて、日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー(JCCB)、及び独立行政法人国際観光振興機構(JNTO)主催の「第16回国際ミーティングエキスポ(I M E 2 0 0 6)」へ市内コンベンション施設の協力のもと出展し、さいたまブースに来場した主催者約50名に対し、本市への開催誘致を図った。(全来場者数1,392名---但し、出展関係者を除く)

(3) 施設見学会事業

コンベンション施設見学会の開催及びソニック施設内覧会への協力

・コンベンション施設見学会の開催

2月5日(月)、I M E 2 0 0 6におけるさいたまブース来場者へのフォローアップ及び新規顧客の獲得を目的に、主催者・エージェント等を対象とした市内施設見学会(大宮ソニックシティ、さいたまスーパーアリーナ、ジョン・レノン・ミュージアム)を開催し、28団体55名の参加をみたが、前年度とほぼ同数の参加団体及び人数の実績をあげることができた。

・コンベンション施設内覧会への協力

9月19日(火)、財団法人埼玉県産業文化センター主催の「大宮ソニックシ

「施設内覧会」へ職員を派遣し、支援内容の説明、観光スポットの案内等を行った。

(4) 情報収集事業

観光・コンベンション団体、関係機関との広域連携による情報収集

JCCB、全国コンベンション運営事業者協議会（CPA）、日本PCO協会の総会及びJCCB主催のコンベンションビューロー部会、研修会等に参加し、他市ビューローや業界関係者との情報交換を行った。

また、JNTO等のコンベンション推進団体による各種統計・アンケート調査等に対して随時協力した。

(5) 経済波及効果調査事業

コンベンション開催による経済波及効果調査の実施

17年度における年間開催件数及び年間経済波及効果を調査し、コンベンション事業に対する行政及び民間の理解と協力を働きかけるため、個別調査とともに報告書を作成し関係機関等に提出した。

コンベンション開催実績調査の実施

本市で開催されたコンベンションの実態を計数的に把握するため、18年度に開催された個別のコンベンション（5件）における経済波及効果を調査した。

(6) JCCBビューロー部会の開催

情報収集事業の一環でもあるJCCBビューロー部会の開催を誘致し、10月5日（木）～6日（金）、大宮ソニックシティに於いて全国のコンベンションビューロー約40機関、50人が参加し、コンベンション誘致に関わる諸テーマについて討議、情報交換を図った。

併せて、市民の方々にコンベンションについての認識を深め、その経済効果を始めとした重要性を理解いただく契機とすることができた。

iii 広報宣伝事業

(1) 広報宣伝活動

観光情報誌「S a i' s」の発行（年3回）

会員、関係団体、一般市民、コンベンション主催者等へ向けた当ビューロー並びに観光情報の広報宣伝を行った。（年3回発行、夏号＝7月、秋号＝10月、冬号＝1月：各15,000部発行）

各種観光マップ・ポスターの作成・頒布の実施

<さいたま市観光ガイドマップ「さいたまマップ」>

さいたま市と共同で作成。（30,000部発行）

<ようこそ！さいたま市>

誘客用として、日本語・英語・韓国語・中国語の4カ国語版を作成。（各1,000部発行）

<今埼玉は花なんです！ポスター（12月）>

埼玉県の仕事へ協力した。（内容：盆栽村）

新聞・タウン誌、その他広告媒体による広報・宣伝の実施

今年度より、積極的なプレスリリースを開始、掲載件数の統計も合わせて開始した。

媒体種別	掲載件数	プレスリリース回数 35回
新聞	61	
タウン誌（紙）	148	
専門誌	27	
雑誌	46	
行政関連出版物	11	
会報等	14	
テレビ	5	
ラジオ	2	
WEB	75	
その他	15	
合計	404	

(2) インターネットによるシティセールス

インターネットによる国内外への誘致PR

- ・ホームページ「webS@i's（うえぶさいず）」の運営
- ・ブログ「もぎたてさいたま情報」の開始

アクセス数（訪問者数）は昨年に比べ106.4%増加し、551,095件であった。

月	訪問者数 (件)	ページ閲覧数 (ページ)
平成18年4月	32,590	151,523
5月	39,547	191,447
6月	32,574	151,238
7月	57,502	238,605
8月	142,469	597,103
9月	29,735	127,214
10月	32,488	142,905
11月	34,717	145,482
12月	38,283	140,632
平成19年1月	39,190	132,566
2月	34,331	128,479
3月	37,669	144,133
合計	551,095	2,291,327
(昨年度)	(517,968)	(3,092,864)
前年比	106.40%	※ 74.08%
1ヶ月平均	45,925	190,944
1日平均	1,510	6,278
※本年度はページを整理したため、減少		

(3) 観光写真コンクールの開催

76名、220点の応募があり、以下の作品が入賞した。

推薦(『決まったね!』 巻島秀男氏)1点、ほか特選4点、準特選5点、入選5点、佳作10点

iv 観光案内所運営事業

(1) 観光案内所等の管理運営

大宮駅観光案内所(JR大宮駅東西自由通路内)、さいたま新都心観光案内所(JRさいたま新都心駅東西自由通路内)、北浦和観光案内所(JR北浦和駅東口前)、浦和観光案内所(JR浦和駅西口前)の運営

- ・観光案内業務
- ・各種パンフレット配布業務
- ・「i」案内所ネットワークによる情報収集・発信
- ・推奨土産品、観光グッズ、委託物品の販売業務

・チケットぴあ業務

v 物品販売事業

(1) 観光オリジナルグッズ等の販売による収益事業の推進

グッズ等売上150,100円

(2) 公共施設等における自動販売機の設置による来遊者へのサービス事業の推進

年間売上3,300,304円

(3) その他、自主財源の確立に向けた取組

観光案内所による推奨土産品、観光グッズ、委託物品の販売業務、チケットぴあ業務
販売手数料収入10,738,129円

vi その他

(1) 情報収集事業

観光コンベンション団体、関係機関との広域的連携による情報収集

他観光コンベンション推進団体による各種アンケート調査等に対して随時協力した。

大都市観光協会連絡協議会への参加による情報交換

政令指定都市の観光協会、コンベンションビューロー等で組織する大都市観光協会連絡協議会へ参加。様々な施策や課題などについて情報交換を行った。

(2) 会員サービス事業

会員相互の交流の場の提供及び会員名簿の作成

新春賀詞交歓会を平成19年1月18日(木)に大宮サンパレスで開催。来賓7名、会員149名の参加があった。

功労者・優良従業員表彰制度の実施

観光コンベンション事業に功績のあった功労者10名を平成18年6月29日(木)開催の通常総会にて表彰した。

SCVB Newsの発行

活動報告や観光コンベンション事業にまつわる情報を掲載した会報を2回発行した。